

- 議 長 日程第1「一般質問」を行います。
- 昨日に引き続き、一般質問を通告順に行います。受付番号第8号 中野博君の一般質問を許します。登壇願います。
- 8 番 中 野 おはようございます。質問をさせていただきます。受付番号第8号、質問議員、第8番 中野博。件名、災害の想定外は想定内。
- 要旨。ここ数年来、地球温暖化の影響か、全国各地でかつてなかったほどの自然災害が頻発しております。幸いにも、この足柄平野では大きな被害は発生はしていませんが、そこに油断が生じてはなりません。今こそ、町民の生命・財産を守るべく本腰を入れた対策を講じるべきと思いますが、町長のお考えをお示しいただきたいと思います。よろしく願いいたします。
- 町 長 おはようございます。定例会2日目、よろしく願いいたします。それでは、中野議員の御質問にお答えをさせていただきます。
- 町民の命を守り、安心して暮らすことができ、町民一人ひとりの幸せにつながる町を目指すため、災害に対する取り組みの一つといたしまして、現在、洪水ハザードマップを作成しており、土砂災害ハザードマップも重ねた災害想定図を作成しているところでもございます。その中で表示する情報の意味を、町民が直感的に理解できるよう、防災情報を5段階に分けて情報と行動の対応を明確にしていくこととしております。来年、2月末までには全世帯に配布し、町民に対して説明会を開催する予定で準備を進めております。
- また、ことしの5月に策定をいたしました地域防災計画では、災害時における役場の機能を維持する業務継続計画の策定と、避難所における運営マニュアルを更新することを優先的に取り組んでいるところでもございます。
- 一方で、これまでの台風等による避難所運営の経験や、毎年実施しております風水害・地震時の災害対策本部図上訓練等を継続していくことで、いざ、災害時の対応が十分に機能するよう、日ごろから危機意識を高めていかなければならないとも考えております。そのため、本腰を入れた対策の一つといたしまして、昨年、御議決をいただきました任期付職員の採用に関する条例に基づき、高度な専門的な知識経験を有する職員を採用することで、専門的な知見を生かし、住民や職員における危機意識の醸成を図り、安全・安心で暮らせる町とし

て充実を図ってまいりたいとも考えております。

今後は、今まで想定外としていたことを想定内とするためにも、防災組織体制の強化を図り、さまざまな災害時において、町民の不安を抑えるよう対応してまいりますので、御理解賜りたいと存じます。以上でございます。

8 番 中 野 まず、行政側の皆さん方におかれましては、昨日来より議員側から同じような質問、また答弁を強いておりますことに、大変申しわけなく思っておる次第でございます。

過去、この自然災害、また防災ということに対しまして、先輩議員並びに同僚議員から数多くの一般質問がなされてまいりました。しかし、今までのこの質問内容を見ますと、それは阪神・淡路、新潟沖地震、そして3.11に象徴されるような地震対策に対する質問であったかと思われまます。今の科学技術を持ちましても、この地震の予知というものは、非常にまだまだ難しい分野にあります。したがいまして、対策を講ずると申しましても、せいぜい耐震化とかその程度の、これが全てベストですよというところまではいかないのが実情でございます。それほど、地震に対する予知は、まだまだ不可能ということでございます。

しかし、今回のような台風に対しましては、今は十二分にあらかじめ予想・予知ができます。そして、発生する月も毎年夏場に向かってのことでございますので、それまでの間に約1年間というものの月日があるわけでございますので、あらゆる対策等が講じられることになろうかと思ひます。どこにどれだけの強さが、また、どれだけの想定できるような被害が起こるかということに対する予知・予見は、台風に対してはできます。

今回、私もこの議案が発送されて、想定しておったことですが、この一般質問、皆さんのを見ましたところが、多分、今回の出来事によって、二、三の方は必ずややられるであろうな、災害に対する質問をと思っておりましたが、一般質問9人中、7人がこの災害に対する質問が入っております。これまた、私もびっくりしたところでございます。ましてや、町民目線からしましたならば、議員は何をやっておるんだ。同じ質問ばかりしやがってというふうなお叱りを受けるかもしれませんが、しかし、反面、裏を返して言いますれば、それ

ほど今回の15号・19号というものは、今まで我々が経験したことない、体験をしたことのないほどの甚大な大きな台風であったということでございます。そして、気象庁発表によりますと、地球温暖化のせいもありまして、今後、年を追うに連れて、この勢力の大きさを増して、必ずや、この我が日本列島に来るということも予想をされておるところでございます。

私も今回の質問で、6項目ほどの質問をしようかなと、させていただこうかなと思って準備はしておりましたが、昨日までの、今までの同僚議員からの質問の中にそのほとんどが入っておりました。私が今さらということで、時間の無駄にもなりましようから、そのほとんどを割愛をさせていただきますが、せっかくいただいた時間でございます。同僚議員から出なかった一、二のことに對してだけ簡単に質問をさせていただき、終了したいと思っております。あしからず、よろしく御了承いただきたいと思います。

まず、我が松田町には、防災担当室というものが設けられておりますが、ここ長いこと、その室長が不在のまま、総務課長が兼任という形でやられております。そこで私は大変失礼な言い方かもしれませんが、本気度を出してくださいという言葉を使ってしまったわけなんです、もうここに至るならば、先ほど町長答弁ございました。そのような形をとってくださるであろうと私も受けましたが、このことに精通した専門的な職員を、もう登用するというに至ってきてるのではなかろうかと思っております。いま一度、担当課長からその辺についての御説明、また意見等をお聞きいたしたいと思います。お願いします。

参事兼総務課長

お答えさせていただきます。町長から答弁ありましたとおり、来年度、令和2年度からですね、新たに高度な知識を持った防災…前職としては自衛官になりますけれども、特に防災のほうにたけた高度な専門的な知識を持った方を採用する予定で、既に面接を終え、採用の方向に向けて、今、準備をしているところでございます。この方につきましては、地方防災マネージャーの資格をお持ちになってられる方で、これは総務省の研修を受けたということで、それによって、これは国のほうの助成も得られるというようなものでございますので、そういったところで今後、令和2年度以降ですね、そんな地域防災については

強固なものとしていただきたいというふうに考えてございます。

8 番 中 野 そのお言葉を聞きまして、非常に安心しておるところでございます。町民の皆様方も、このことを知れば、幾らかの安心感が生まれるのではなかろうかと思っております。ぜひぜひ、よろしく願いをいたしたいと思っております。

今回の、特に19号の台風の全国的な被害、甚大なものでございました。これは皆さんも、もう既に周知のとおりでございます。私の記憶いたしますところ、死者、全国で95人、行方不明がまだ1人おられるかもしれません。そして、氾濫、また決壊河川が70以上。この中には一級河川、国が管理する千曲川や阿武隈川のような、よもやあの川が決壊・氾濫するのかわと思われのような、大きな川までもが含まれておりました。

私どものこの町にも、大きな川が2本流れております。酒匂川と川音川。私たち、まず川が氾濫・決壊しそうなんだってよということを聞きますと、まず想定するのは酒匂川を想定します。しかし、これまた私の記憶するところ、この酒匂川が決壊のおそれがあったのは六十数年前。私は実は、今は自動車学校、松田自動車学校のところで生まれ育ちました。したがって、よく承知をしておるんですが、私がまだ幼少期のころ、あの自動車学校の横の堤防が決壊をしそうになったことがございます。それが六十数年前です。夜通し大人の男の人たちが、あの土手に生えてます松の木を切り倒して、そこに当てがって、蛇かごを投入したりということで、一日中防いでいたということが目の当たりに思い浮かべられます。そして御婦人の方、今は御婦人と言っはいけないと思いますが、女性の方々は炊き出しということで、幼いころの記憶に今、残っております。それ以来、この酒匂川が氾濫、また決壊のおそれということは、ついぞ私は記憶にはございませんが、それは定期的に河床整備等がなされているあらわれかなというふうに思っております。

そして、怖いのは川音川です。私が何とかしてほしいというのは川音川です。私、今回、台風19号のときに、御存じのとおり私は35年ほど、あの川音川のすぐほとりに住まいをしておりますので、やっはならないことだとは思っておりましたが、余りの長雨、また強い雨のために、川がどうなっているのかということで、夜中に軽トラもってそっと見に行っまいりました。そのライトの

前に浮かび上がったあの川音川の激流・濁流、今まで35年間、私は見たことのないような、ぞっとした思いがしたものでございます。このまま降り続いたならば、必ずや氾濫か決壊がどこかで起きてしまうのではなかろうかという思いをして帰ってきたんですが、まんじりともせず、一日を夜中じゅう起きて通したわけでございます。

幸いにも決壊はせず、また氾濫はしなかったんですが、あそこの川は、寄からの中津川、そして渋沢からの四十八瀬川が松田ランドのところで合流をし、そして川音川となって流れ込んでおります、酒匂川に。松田ランドからの川幅は、非常に急に狭くなっておりまして、そして、そこにはいまだに自然木が繁殖をしてしまっております。ひとたび濁流、今回のような大雨が降り、濁流、また激流がありますと、これが根こそぎなぎ倒され、下流にございます籠場橋、またそのすぐ下にあります小田急線の鉄橋、このピアー、言うなれば橋脚に引っかかり、そしてそれが水の流れを防ぎ、その上流部分がダム化をしてしまうこととなります。そのことが一番恐ろしいことでございます。

皆さんごらんになって、今、籠場橋の橋脚、そして小田急線の鉄橋の橋脚、今、橋脚から橋げたまで数メートルしかございません。私が35年前に引っ越してきたころには、まだまだ深い川底であったように記憶しております。今は大雨が降るたびに上流から押し流されてきた土砂・石等によって、河床・川底が盛り上がってきてしまっておるのが実情です。そして、私が記憶する限りでは、あそこの河床整備はされたことがないかと思っております。それほど、今では河床が盛り上がってきてしまっており、ひとたび今回のような大きな雨が降れば、それが洪水となって酒匂川まで流れ込めずに、途中で氾濫、また決壊を催してしまうというおそれにもなろうかと思えます。今回、前代未聞の小田急線が2日間にわたってとまってしまったというのも、この決壊によってのことであるかと思っておるところでございます。これは神奈川県、県のほうの管轄ということは重々承知しておりますが、地域要望からも町側に何回も出されていることと思えます。この川音川の河床整備を早急に早く、一日でも早くやっていただきたいな、かように思うわけでございます。その点を強く強く県のほうに要望をしていただきたい。その辺についてのお考えをお示しいただきたいと

思います。

まちづくり課長 それではお答えさせていただきます。まずですね、川音川の整備につきまして、先週ですか、確認をさせていただきました。その中では業者が決定し、東名高速道路より上流側で2カ所業者も決定して、今年度事業で河床整備を実施するということで、県土木のほうからお答えをいただいております。それとですね、要望活動についてということでございます。町長もですね、直接、知事とお会いしたときに河川の整備についてということで、知事に直接お話ししたこともございます。そういったことで、神奈川県内を含めて河川内に生えている樹木についてということで、相模川、酒匂川、川音川、そういった河川についても知事に直接お話をする市町村の方もたくさんおられまして、そういった事案があるということで、知事に対しても要望しておりますので、今後も引き続き、今まで以上に要望していきたいと思っています。以上です。

8 番 中 野 実は、一昨日、私、立て看板が立ったのを見ました。あ、やっとやってくれるんだなという思いでございましたが、東名から上流部分ということで、今まで手が入らなかった部分でありますから非常にありがたいと思っておりますが、しかしながら、まだ距離がございますので、一部分だけということに終わらず、ぜひお願いをいたしたいと思っておるところでございます。

質問は以上でございますが、これは参考のためにということでお話をさせていただきます。今回、15号・19号ということで膨大な被害をもたらした台風。特に15号は九州方面に対して膨大な被害をもたらされました。このとき、佐賀県、町長の出身の県でございますが…（「15号は千葉です」の声あり）そうでしたか。じゃあごめんなさい。いずれにしても台風の被害によってということで、大きな九州方面が被害をこうむった、ありましたが、その中でも、町長の機転によって、一人の犠牲者・けが人も出さずに済んだという町がありました。これは町長も御存じであろうかと思いますが、江北町。町長、御存じですか。江戸の江に北。江北町ですね。この江北町の町長さんは、避難勧告・避難警告、今まで松田町の場合は同報無線を使ってやりますが、非常に聞き取りの悪い部分もございます。しかし、この江北町は、いまだに昔、松田町にもございました有線電話ですか。これが各戸に引かれておるそうでございます。今

回の警告・避難勧告を出しても、多くの各地の住民・町民は俺のところは大丈夫だろうよと、避難まではしなくてもという、たかをくくった方たちが被害に遭ってしまったと事例も多くございました。そのことを踏まえて、江北町の町長さんは、何とみずからの声で、肉声で、この有線電話を使って合計8回避難警告を出されたということでございます。それを聞きました町民は、町長みずからが言うんだから、よっぽどひどい目に遭ってしまふのであろうということ、いち早く誰もが避難所へ避難をして、誰一人の犠牲者も出さずに難を逃れたということがあそこのところに大きく書かれておりました。これは非常にすばらしいお話だなというふうに思います。片や、千葉県のような、ある知事の…ある知事とは言いませんが、知事さんのように大変県民の信頼を受けておった知事が、あのようなことになって、非常に残念でならないというふうな事例もございます。

江北町のような町長さん、機転がきくようなことによって救われた命がいっぱいありましたということに対して、同じ佐賀県の血を引く本山町長でございます。が、その辺のところ、もし思いが有りますれば、お話しただいて、私の質問を終わりにしたいと思います。なければ結構でございますが、お願いします。

町長 ありがとうございます。本当に首長さんたちは、その場所、その場所の責任者ですよね。ですので、町長さんのお声で皆さんたちがそういった格好で危機意識を高めていただければ、私がそういった役を担うというのは、当然、しかるべきことだというふうにも思ってます。たしか、隣町の大井町長さんも何かやられてたような感じもして、あら、小田さんの声だなんていう、間宮さんの声では聞いたことがないかなという気がしますが、そういったことも感じております。

とにかく、町民の方々が危ない危機意識を本当に共有していただけるように、日ごろからの訓練というよりも、今、言われてるようにこれだったら大丈夫だろうとかっていう部分を、やはり同じ共有しながらやっていかなきゃいけないと思いますし、これから防災無線のデジタル化を図ったにしても、どうしても無線だけでは聞こえないこともありますし、それから戸別受信機の数も、国

のほうも基本的にそういうのをふやしていかなきゃいけないというふうな思いに今なってるみたいですので、我々もそういったものにしっかりとせていきながらですね、町民の安心・安全のためには私ができることは、今の御提案も含めて検討してですね、対応させていただければと思っております。以上です。

8 番 中 野 ありがとうございます。いずれにしましても、防災は一朝一夕には成り立っていきません。常日ごろよりの町民への啓蒙、そして訓練等が必要になってこようかと思っております。その点、どうぞ行政の皆様方におかれましては、今後ともより一層の御尽力を賜りたいと、かように思います。

以上、質問を終わります。ありがとうございました。

議 長 以上で受付番号第8号 中野博君の一般質問を終わります。